

大方の秋まつり・産業祭 今年は合同開催

11月9日、土佐西南大規模公園園体育館周辺で、「第52回大方の秋まつり・第2回黒潮町まると産業祭」を行いました。

毎年11月の第2日曜日にふるさと総合センターなどで行ってきた秋まつりと、昨年12月に第1回を行った産業祭を合同開催。

当日はあいにくの雨で郷土芸能などのステージは中止となりましたが、体育館内では児童・生徒・一般の方の作品展示、駐車場では特産品マーケットが開かれ、家族連れなど多くの方が来場しました。



また、隣接敷地では、幡多・マーケット「海辺の日曜日市」、大規模公園内ではスケートボードイベント「SMOOTH COBRA」や、幡多地

域の森林組合による「幡多山もりフェス」なども行われ、各会場を回るお客さんの姿も。雨にもかかわらず、たくさんの方がイベントを楽しんでいました。

(写真) 1、野点の会によるお茶コーナー。2、一般募集のほか、大方地域の保育所児童・小中学生の作品を展示。3・4、産業祭では農協や漁協、町内商工業者などが出店。5、木工体験ワークショップ「幡多山もりフェス」。6、テントの下でスケートボードのタイムリース(SMOOTH COBRA)。



松原におおかみとこぶた? 第20回潮風のキルト展

NPO砂浜美術館主催の「潮風のキルト展」が、11月14日から3日間、入野松原で行われ、約2000人が来場しました。

お天気に恵まれた今年は、3日も屋外で開催。らつきよう畑と松原に囲まれた道沿いに、高知県や愛媛県を中心に全国から応募された大小のキルト52作品が展示され、訪れた人々は、作品を鑑賞し

たり、キルトのある風景を写真に撮ったり、芝生でピクニックをしたり、休日をはのんびりと過ごしていました。



今年は特別企画として、絵本作家・宮西達也さんの絵本「きょうはなんてうんがいんだろう」を題材に、松原内に主人公のおお

かみや、こぶたの人形を展示。会場では、大人と子どもで楽しめるモビールづくりのワークショップも行われ、参加者は手作りの楽しさを体験していました。

(写真) 1、松原の中におおかみとこぶたを展示。2、できあがったモビールを持ってphotozoneのおふたりと。3、キルトのテーマは「自然」。4、土佐くろしお鉄道などのウオーキングツアー参加者も。5、絵本の1場面をパネルに。6、絵本に出てきたカレールーやココロツケ、アップルパイもありました。

